

個別公表

1 事故の概要

道立北見病院の玄関ホールにおいて、外来診察のため来院した患者様が何らかの原因で転倒し頭部を打撲、CT検査の結果、クモ膜下出血、硬膜下血腫が認められたため、脳神経外科に搬送、その3日後に死亡した。(死因は急性心筋梗塞と推定)。

(1) 事故発生日時 平成18年9月6日午前9時30分頃

(2) 医療機関名 道立北見病院

(3) 患者の性別 男性 年齢90歳代

(4) 事故発生の状況

上記の発生日時において、妻の付き添いで道立北見病院の玄関前でタクシーを降り、妻が料金の支払いをしていた間、患者様が一人で杖をつきながら玄関ホールに歩いて向かった。

その後、妻が玄関ホールで倒れている患者様を発見した。(転倒を目撃した者がいないことから、転倒の原因は不明)

外来看護師が声を聞き駆けつけると、頭部を玄関ホールの壁にもたれ手足を投げ出し、意識はあるものの反応が鈍い状態であった。

(5) 医療上の処置

玄関ホールにて主治医が診察し、CT検査をするも、明らかな異常は確認されず様子を観察した。その後、再度CT検査をすると、クモ膜下出血及び硬膜下血腫を認めため、11時40分に脳神経外科に救急車にて搬送した。(医師同乗)。

2 事故後とった防止対策

事故発生後は、当面、職員があらかじめ玄関で待機し、高齢の患者様等の介助や案内に対応することとした。